

チャボ 大好き！（獣医師の中川先生から飼育を教わる） 武蔵野大学附属幼稚園(東京都西東京市)

【5歳児】

4歳児がウサギ、5歳児がチャボの世話をしている。そこで例年4月に、地域の獣医師であり、全国学校飼育動物研究会の事務局長である 中川 美穂子先生に、ウサギやチャボなど飼育動物についてのお話をうかがい、飼育動物に親しむ取り組みを進めている。

チャボについて話を聞いたり抱いたりして、親しみをもつ 事例

- 環境：・各クラスで飼育しているチャボ（2羽ずつ入っている飼育ゲージをクラスの前に置く）
・中川先生が飼われているウコッケイ（1羽が入っている飼育ゲージをチャボの間、中央に置く）
・新聞紙（チャボのために目隠しに使ったり敷いたりする）
・タンポポの葉など餌になる野草

子どもたちが、クラスごとに静かにホールに集まってくる。

中川先生：元気に挨拶しようとする子どもたちに「チャボが驚くから、元気もいれけど静かに挨拶しよう」としづさを交えて小声で伝える。

子どもたち：小声だが、動作で丁寧に挨拶をする。

中川先生：「みんな、チャボのお世話をするんだって？どんなことをするの？」

子どもたち：「ご飯、餌をあげる」「それからお水」「かわいがってあげる」「お掃除もする」

中川先生：「そう、餌もお水もあげるし、かわいがってあげるんだよね。それから、掃除もするよね。チャボさんもお部屋でご飯を食べたりお水を飲んだりするし、オシッコやウンチもするよ。だから、朝チャボさんのお部屋はどうなっている？」

子どもたち：「汚れてる」「汚いから掃除してあげる」

中川先生：「そうだね。みんななら汚いと掃除するけど、チャボさんできないものね。だから、掃除してあげるんだね。前の日にコップに入れた水をみんな飲む？飲まないよね。一度口を付けてある水は、汚れやバイキンがととも増えているから、きれいな水に取り替えてあげてね。入れ物もこうして（洗うまねをしながら）きれいに洗ってヌルヌルや汚れを取って、水を入れてあげてね」

こうして、チャボの世話の話が続く。子どもたちは中川先生とやりとりをしながら、「オシッコが白で、黒っぽい茶色のところがウンチだ」ということや「その様子がいつもと違う時はよく見て、先生に知らせる」ことを知る。また、チャボは寒さに弱くて毛を膨らますことや、寒さに弱いので水に濡れないようにすること、もし濡れたら乾かしたり温めたりしてあげるとよいことを知る。

中川先生はその他にも、チャボが鳴いた時は「僕はここにいるよ」と鳴いていると話したり、説明のためにチャボを抱いたりする。そして、いよいよ子どもたちがチャボを抱く。

中川先生：「これから、みんな順番にチャボを抱こうね。チャボのこの所（羽の下）に優しく手を入れるといいことがあるよ」と優しくゆったりと抱くことを話す。

子どもたち：嬉しそうにする子、チャボを見る子、「えー」と驚く子がいる。

中川先生：「ギュッと力を入れて抱かれると苦しくなるでしょ。チャボも同じ

ように苦しくなるんだよ」と話し、骨や息が入る所などを示しながら持つところや抱き方を示す。

中川先生の話聞き、順番にチャボを抱く。膝にバスタオルを置き、その上にチャボを乗せて抱く。

側には担任が寄り添い、声をかけたり支えたり見守ったりする。

子どもたちは皆、自分からタオルを渡したり受け取ったりして交代する。

チャボを静かに抱き、なでたり頬ずりするようになり、口や羽、首、トサカや目、耳などいろいろな所を確かめるように見る。

皆自分から、翼の下に手を入れる。

「ドキドキする」「あったかい」などと言う。

全員抱き終え、中川先生に質問をする。多くの子どもが挙手をし、

指名された子が質問をする。1時間以上活動が続いているので解散になるが、先生の言葉など無く自然に質問したい子どもたちが中川先生の所に並び、中川先生が一人ひとりの質問に答える。



その後出された質問(抜粋)

Q チャボの赤いところ、トサカや口の下はどうしてあるの？

A それはね、どうしてなのかはっきり分からないのです。どうしてだろうね？カッコよくして、お嫁さんに来て欲しいのかも。



Q 外にいる時に雨が降ったら、チャボはどうするの？

A そうだね。水に濡れると困るよね。みんなはどうする？きっとチャボも木の下などに隠れるんじゃないかな。この前の大雨で、びしょ濡れになって弱ってしまった小学校のチャボが病院に来ました。その時は大急ぎで乾かして暖めてあげました。ドライヤーで暖めました。元気になってよかったです。みんなも、濡れたらすぐに拭いて、暖めて、羽を乾かしてね。

Q 土のところで寝転ぶのはどうしてですか？

A チャボは羽の中に小さな虫とかがいて、砂で虫やゴミを取っています。砂できれいにしているんです。ゾウさんも砂浴びするよね。(子どもたち「スズメもしてた」「馬も転がってるの見た」) そうだね、みんなよく知っているね。

みんなは汚れたらどうする？(子どもたち「洗う」「お風呂に入る」) チャボはお風呂には入りません。(子どもたち「え～え！」) その代りに砂や土のところで砂浴びをするんです。

Q どのくらい重い？どのくらいの大きさですか？

A どのくらいだろうね。大体1キログラム。小さなお母さんのココちゃんは1キログラムもないと思います。先生と測ってみてはどうですか？重さや背の高さ、測ってみてね。

Q 何歳くらいまで生きるの？

A 私が飼っていたチャボは14年でした。10年から20年、20歳くらいまで生きるかもしれないけど、普通は14～15歳、人間は100歳くらい生きるよね。

Q 好きな食べ物は何？

A どんな食べ物が好きか、みんな調べてみてください。鳥によっても違うけど、同じチャボでもそれぞれ違うかも知れません。これはなんだ？(子どもたち「タンポポの葉」) よく知っていますね。このタンポポの葉っぱやこうした細長い葉っぱなど草も好きです。でも、こうした草は手で持ってあげて、突っついて食べられるようにすると食べます。置いてあると食べられないから、小さく切ってあげてね。野菜も同じだよ。

Q どうして「コケッココー」って鳴くんですか？

A そうだね。どうしてかな？「ここにいるよ」と知らせたり「僕の方が強いぞ」「違う、僕の方だよ」と鳴き合ったり、「こっちにおいで」とメスを呼んだり、いろいろな時に鳴いているね。

Q 卵はどこから生むの？

A (チャボを抱いてお尻の穴が見えるようにして) ここです。穴は一つしかないから、ここから卵が出てきます。

Q どうして卵が生まれるの？

A どうしてだろうね。みんなはどうして生まれたのかな？お父さんやお母さんが君が生まれて欲しいと思ったから、生まれたんじゃないかな？生まれてきてよかったね。チャボのお父さんお母さんも赤ちゃんが生まれて欲しいと思ったから、生まれたのかな。

Q 卵が生まれたら、どうやって育てるの？

A チャボが自分たちで育てます。チャボのお母さんが育ててくれます。餌を食べやすくしたり虫を目の前に置いて突っついて見せて食べ方を教えたりします。でも、赤ちゃんを育てやすいようにしてあげてね。

Q どうして、オスは卵を生まないの？

A みんなはお父さんが産んでくれた？違うでしょ。オスは卵を産めないんですよ。でも、本当はお父さんにもお母さんにも半分ずつ卵があって、それぞれが一緒になって、一つの卵、ひとりの赤ちゃんになって生まれるんです。だからみんなも、お父さんにも似ていますね。

Q ひよこのオス・メスは どうやってわかるの？

A それはとても難しいです。私にもできません。専門の資格をもつ人「初生雛鑑別師」が、見分けることになっています。それでも生まれてすぐは分かるけど、少しすると分からなくなってしまうそうです。

解散後も並んで質問



Q 羽はどうして取れるの？

A みんなの髪の毛が抜けるのと同じです。(羽の根本など見せて説明する) どんどん新しいのが生えて、古いのは抜けるんですよ。